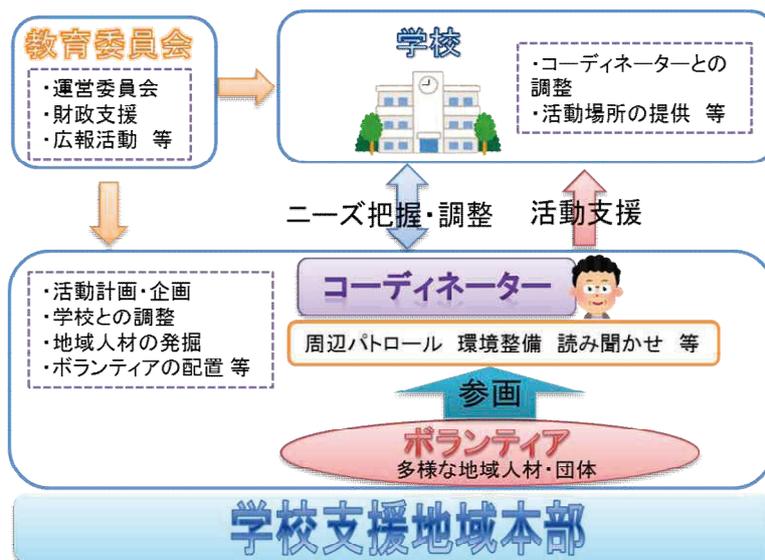


## ◆事業方針（計画等における位置づけ）

江東区では「江東区長期計画」において、平成31年度までに小・中学校全校（小学校45校、中学校23校、義務教育学校1校）に学校支援地域本部を設置することを目標に取り組み、平成30年度現在、小学校36校、中学校20校の計56校で実施している。

地域ごとの特徴に合わせた活動を計画的に展開するため、具体的な実施計画を立てるよう学校へ助言するとともに、事業担当者が定期的に実施校及び新規で立ち上げた学校に訪問し、事業目的や体制づくり、予算の執行について説明を行っている。

## ◆地域学校協働活動（学校支援活動を含む）の実施体制（特徴・工夫等含む）



## ◆運営委員会

（12月中旬）次年度の実施予定校向けに説明会を実施。

（3月中旬）運営委員会の開催。年間の活動報告と今後の展望の共有及びコーディネーター同士の交流。

## ◆広報活動（パンフレット、HP活用、広報誌、報告書など）

- ・各実施校のHPに、学校支援地域本部のページを設置し紹介。
- ・各実施校ごとに活動報告等のパンフレットを作成・配布。

## ◆コーディネーターの育成・交流の機会提供や学校に対する事業理解促進

- ・都によるコーディネーター研修や、コーディネーターフォーラムへの参加を促す。
- ・区の運営委員会をとおし、実施校と、次年度の新規実施校を対象に他校での取組を参考にする機会の場を設けている。

## ◆成果（平成29年度実績・43校）

- ・学校支援ボランティア参加者数（延べ）：67, 506人
- ・年間を通じた本部の活動日数（延べ）：6, 214日

## ◆課題・展望

- ・江東区の長期計画に基づき、平成31年度までに小・中学校全校で学校支援地域本部を立ち上げるにあたって、立ち上げ年度の学校が当初からスムーズに事業を実施できるよう、前年度から説明会等や年度当初の学校訪問を行い理解の徹底をはかる。
- ・コーディネーター同士の交流会を通して、特に近隣学校同士のつながりを作る場を提供し、横の連携を通じたより充実した支援活動の実現につなげる。